

2017年7月11日  
日興アセットマネジメント株式会社

## 「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」 分配金のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」は、2017年7月10日に決算を行ないました。

本資料では、当期の分配金についてご報告するとともに、マザーファンドの運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドのコメントをご紹介します。

### 当期の分配金と設定来の基準価額推移



#### ＜当期の分配金＞

分配金 (税引前、1万口当たり)	0円
基準価額(1万口当たり) 2017年7月10日現在	9,415円

#### ＜基準価額の推移＞



※ 基準価額は信託報酬(年率1.3392%(税抜1.24%))控除後の1万口当たりの値です。

今後の分配金額につきましても、引き続き、収益分配方針に基づいて決定してまいります。  
今後も、当ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

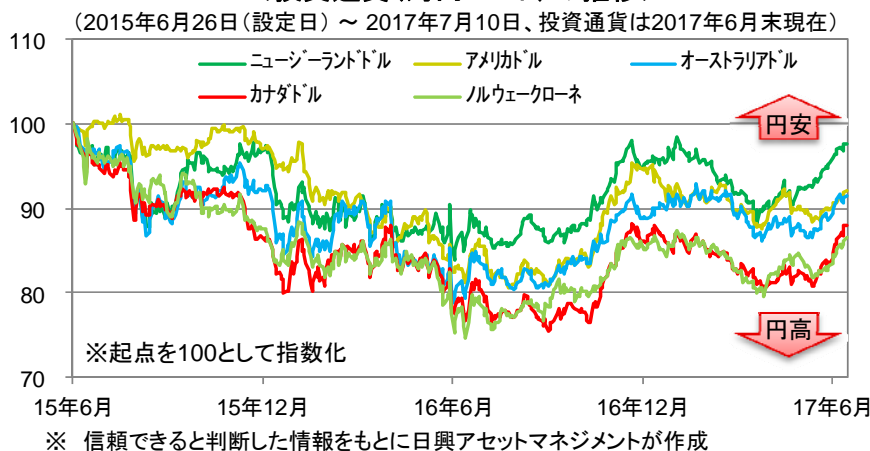
■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。  
■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。  
■ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

## 運用概況と投資国の見通しについて

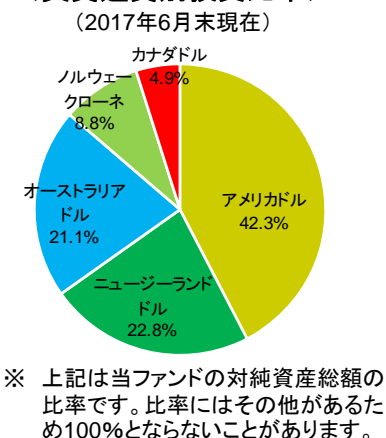


- 今期(2017年1月11日～2017年7月10日)は、地政学リスクや欧米の政治リスクの高まりから先行き不透明感が強まり、為替市場では4月にかけて、円高が進行しました。その後、フランスの大統領選挙が事前予想通りの結果となったことなどから欧州の政治リスクは後退したものの、商品市況の軟調を受けて資源国の通貨が下落する局面もありました。足元では欧米の金利上昇を背景に円安が進行しました。
- 米国については、FRB(米連邦準備制度理事会)は、年内にあと一度利上げを行なう可能性があります、それ以上のペースとはならないと考えます。また年後半以降に開始される予定の保有資産の縮小について、今年9月頃には計画の詳細が発表されると見込まれます。前例のない大規模金融緩和からの出口戦略であり、注視は必要なものの、資産縮小はコントロールされた健全なペースで進められるとみられ、市場へのインパクトは大きなものとはならないと考えます。また、他の主要先進国で金融緩和が継続されていることは、世界的な長期金利への低下圧力になるとみられます。
- オーストラリアでは、低金利政策や通貨安などを背景に景気が持ち直しをみせており、2017年1-3月期のGDP成長率は市場予想を上回りました。消費はやや軟調なもの、労働市場は改善を示しているほか、足元でインフレ率も加速していることから、政策金利は当面据え置かれるとの見方が強まっています。
- ニュージーランド経済は、利下げによる景気刺激や移民の流入増加を受けて、堅調に推移しています。また、同国の主要輸出品である乳製品価格も足元で回復傾向にあり、同国経済を下支えています。市場では利上げが意識され始めているものの、中央銀行は緩和的な態度を継続しています。
- ノルウェーでは、原油価格の軟調が重石となったものの、景気は緩やかな回復基調にあります。堅調な労働市場や住宅市場の伸びを背景に、インフレ率は先進国の中でも相対的に高い水準を維持しています。
- カナダ経済は、原油価格の大幅下落による低迷から持ち直し、堅調な推移をみせています。賃金の伸びが限定的であることから政策金利は据え置かれていますが、一部の地域で住宅市場が高騰していることに対し、中央銀行は警戒感を示しています。

### <投資通貨(対円レート)の推移>



### <実質通貨別投資比率>



※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。